

2020年9月17日

国際的に権威ある独デザイン賞を受賞

ステージピアノ 『CP88』、
ショルダーキーボード sonogenic 『SHS-500』 が
「German Design Award 2021」を受賞



ヤマハ株式会社（以下、当社）のステージピアノ 『CP88』、ショルダーキーボード ソノジェニック 『SHS-500』の2件が、国際的に権威あるドイツのデザイン賞「German Design Award 2021」において「Special Mention」に選出されました。

『CP88』は、グッドデザイン賞(2019年)、アジアデザイン賞 Silver Award (2019年)、iF デザインアワード(2020年)、Red Dot デザイン賞(2020年)に続く5度目のデザイン賞受賞となり、『SHS-500』は、iF デザインアワード(2020年)、Red Dot デザイン賞(2020年)に続く3度目のデザイン賞受賞となります。

・ヤマハデザインサイト：<https://www.yamaha.com/ja/about/design/>



ステージピアノ 『CP88』



ショルダーキーボード sonogenic 『SHS-500』

< 「German Design Award」 >

ドイツデザイン評議会が2012年から主催している国際的に権威のあるデザイン賞です。コミュニケーションデザインとプロダクトデザインの中からユニークなデザイントレンドを発見し、表彰することを目的に毎年開催されています。各賞は最優秀賞である「Gold」、各カテゴリから選出され優秀な作品に贈られる「Winner」、そして各カテゴリから選出される「Special Mention」から構成されます。当社では、2016年から合計9件が受賞しており、今回で合計11件目の受賞となりました。

・「German Design Award」公式サイト（ドイツ語 / 英語）：<http://www.german-design-award.com/>

<受賞製品詳細>

●ステージピアノ『CP88』（2019年3月発売）

当社のライブパフォーマンス向けキーボード「CPシリーズ」のアイデンティティを受け継ぎ、これまで培った技術を結集し、発展させたステージピアノの最新モデルです。今回受賞した88鍵の『CP88』のほか、73鍵の「CP73」も提供しており、いずれも“本物”を感じさせるアコースティック、エレクトリックピアノのサウンド、演奏者の感性に応える鍵盤タッチ、直感的な操作を可能にするユーザーインターフェース、そして堅牢性を保ちつつコンパクト化されたボディが特徴です。



<https://www.yamaha.com/2/cp/>

●ショルダーキーボード ソノジェニック『SHS-500』（2019年3月発売）

鍵盤楽器を演奏したことがない方でもすぐに楽しさを実感できるコンパクトなショルダーキーボードです。「JAM機能」を使えば、スマートデバイスに保存している楽曲のコード進行にマッチする音が自動的に鍵盤に割り当てられ、お気に入りの曲と自由にセッションを楽しむことができます。スピーカー内蔵ながらもわずか1.5kgの軽量ボディで電池駆動にも対応。音色は30種類を搭載し、多彩なエフェクトをコントロールするノブやMIDI端子も備えています。シンプルなデザインを採用しながらも本格的な演奏や音楽制作にも対応できる一台です。



<https://www.yamaha.com/2/shs-500/>

*その他、文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：新川（あらかわ）TEL. 03-5488-6601
ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/（取材申し込みや広報資料請求が可能です）
